

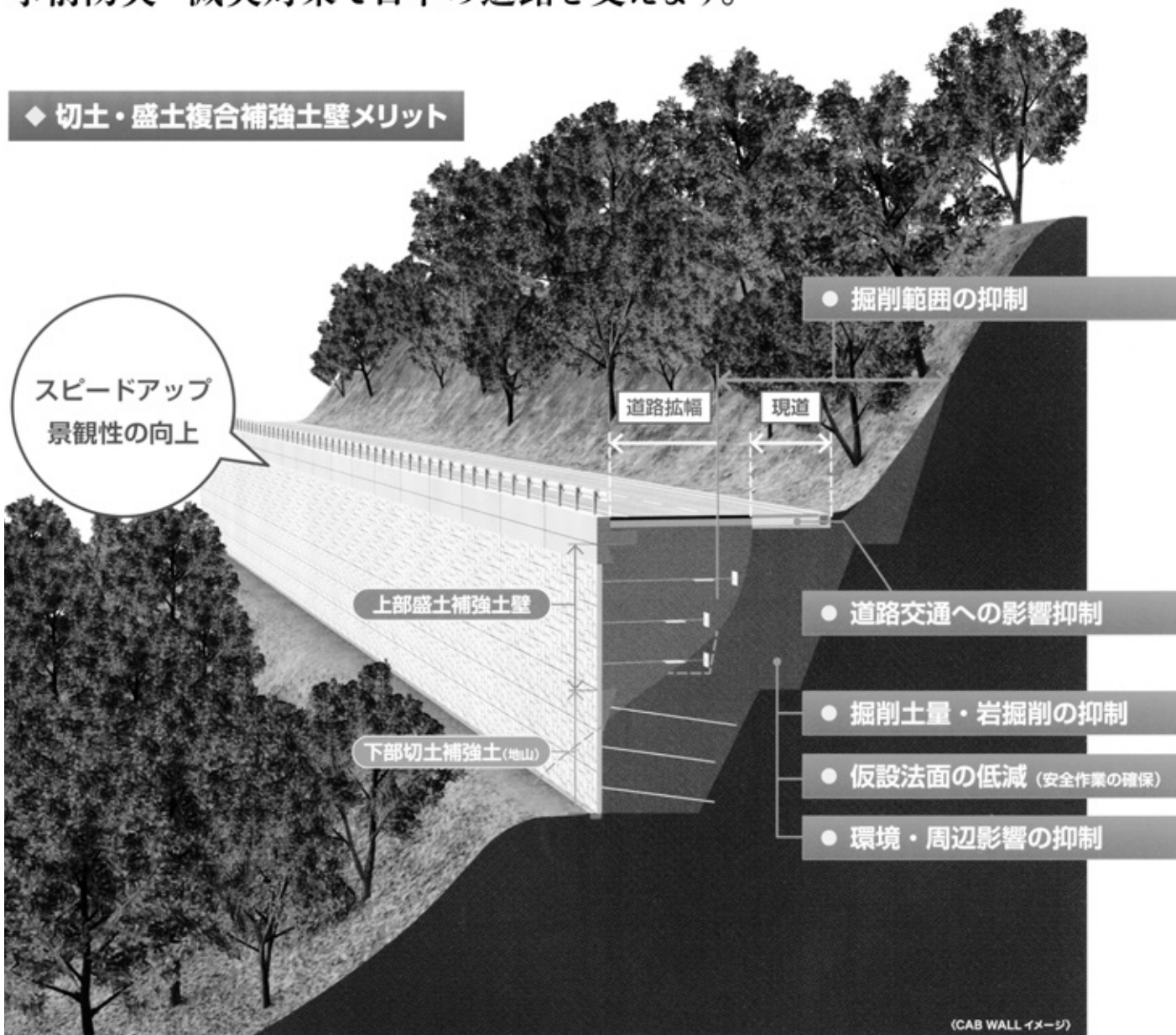
切土・盛土複合補強土壁

CAB WALL

CUT AND BANK

「国土強靱化」「道路拡幅工事」に。
事前防災・減災対策で日本の道路を支えます。

◆ 切土・盛土複合補強土壁メリット



(CAB WALL イメージ)

下部地盤を切土補強土(地山)で安定化したうえで上部に盛土補強土壁を設置し、地山と盛土を一体的な構造物とする「切土・盛土複合補強土壁」を提案します。

従来工法

現道を拡幅する場合、盛土補強土壁を計画すると、工事影響範囲が大きく、掘削土量も膨大となります。また、現道を通り止もしくは幅員減少など、利用者との調整が必要になります。

CAB WALL

CAB WALLの場合、掘削土量と盛土土量を低減し、工事影響範囲を小さくすることができます。また現道への支障を最小減にでき、スムーズで安全な工事が可能になります。

◆ 切土・盛土複合補強土壁の考え方

▶ 構造パターン

- 上部荷重（活荷重等、盛土部自重）を地山部で抑止可能
 - ➔ 下部地盤は補強され安定した地山的挙動を示す（崩壊性が無く、壁面への土圧は小さい）
 - ➔ 上部補強と下部補強は個別に安定を保持

➔ 上部盛土補強を支持する下部切土補強土(地山)

